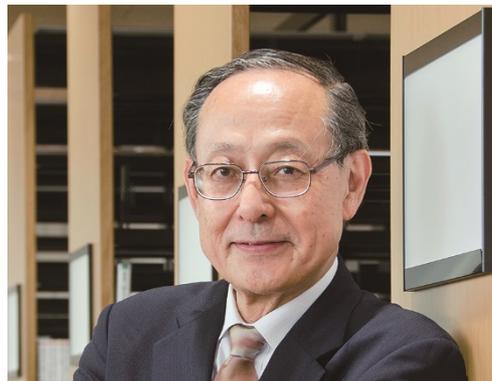


望月 正隆 (モチヅキ マサタカ)

e-mail: mmochizuki@rs.tusy.ac.jp



【研究内容】

環境内発がん性 *N*-ニトロソ化合物の活性発現の制御

【研究目的】

薬学での有機化学のあり方を常に意識し、疾病を有機化学の立場から研究します。特にがんの発生と制御を有機化学的に解明することを目的として研究しています。発がん機構を解明することでがんを予防し、さらに制がんへの応用を目指して新しい制がん薬を合成し、がんの制御を目標とします。

【今後の展開】

N-ニトロソ化合物は環境中にも存在し、さらに生体内でも生成する発がん物質です。また、*N*-ニトロソ化合物の構造が異なると標的発がん臓器が変化することが興味深い点です。*N*-ニトロソ化合物の臓器特異的活性発現に関与する因子を明らかにすることで、医薬品を臓器特異的に活性化させることも可能になることが期待できます。これまでの*N*-ニトロソジアルキルアミン研究を総括し、がん予防および制がんなどの医薬へと発展させます。

【主な研究テーマ／実績テーマと内容】

発がん機構を解明することでがんを予防し、さらに制がんへの応用をめざし、新しい制がん薬を作り、がんの制御を目標とします。

発がん研究

- 1) *N*-ニトロソ化合物の活性化および不活性化に及ぼす構造の活性相関
- 2) 膀胱特異的発がん性 *N*-ニトロソ化合物の活性発現機構の解明
- 3) 生薬成分中の抗変異原性化合物の単離と機構解明

制がん研究

- 1) DNAクロスリンク活性をもつ新規複素環化合物の合成と活性
- 2) DNA塩基配列特異性を示す新規クロスリンク化合物の合成と活性

N-ニトロソ化合物の生理作用に基づいて、化合物の構造の特徴や化学的反応性を詳細に検討して、人の健康に及ぼす影響について総合的な研究を目指します。楽しく、そして誠実に研究しよう。

【企業との共同研究の実績】

常磐植物化学研究所との共同研究：「抗変異原性植物成分の探索研究」